

7/8-14#5 神の言葉を神の息として吸い込み吐き出すことによって、十分に装備された神の人となる

**Bird's Eye View** 神の究極の意図は、一人の団体の神・人を得て、神の団体の現れとすることです。神が願うのは良い人ではなく、神・人、神の息を持つ神の人です

**A**「エホバ・神は土のちりで人を形づくり、その鼻の中に命の息を吹き込まれた。すると人は生きた魂となった」(創2:7)

**1**人の体の中に吹き込まれた命の息は、人の霊となりました。

**2**人の体の中に吹き込まれた命の息は、神の永遠の命ではなく、神の霊でもありませんでした。しかし人の霊は神の命の息から出て来たので、神の霊にとっても近いのです。

**3**ですから、霊なる神と人の霊との間は伝達が可能であり、人の霊は神と接触することができ、神と一になることができますのです。

**B**「彼は...彼らの中に息を吹き込んで言われた、『聖なるニューマを受けよ』」。(ヨハ20:22)

**1**聖なるニューマは聖霊、あるいは聖なる息です。

**2**ヨハネによる福音書には、三つのすばらしい言葉があります。それは「言」、「肉体」、「息」です。言は神であり、肉体は人であり、息はその霊です。

**3**言は肉体と成って法理的な贖いを完成し、次に復活して聖なる息と成り、私たちに内住し、私たちに供給して、有機的な救いを得させます。

**C**「聖書はすべて、神の息吹かれたものであり」(2テモ3:16a)

**1**聖書、神の言葉は神の息吹き出したものです。

**2**神の語りかけは神の息吹き出したものです。ですから、神の言葉は霊、あるいは息です。

**D**これらすべてが啓示しているのは、神の息を持つ十分に装備された神の人となるためには、私たちの霊を訓練(活用)し、絶えずその霊を受け、神の言葉を吸い込む必要があるということです。

**II**神の息吹かれた聖書は、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです

**2テモテ3:14**しかし、あなたは学んで確信している事柄の中にとどまっていなさい。あなたはそれをだれから学んだか知っており、**15**また幼い時から聖なる書に親しんできたことを、知っているからです。この聖なる書はあなたに、キリスト・イエスにある信仰を通して、救いへと至る知恵を得させることができますのです。

**16**聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。

**A**聖書は神の息であり、この息は霊であり、霊は命を与えます

**1**私たちが聖書を読むことは、神を吸い込んで命を受けることであるべきです。私たちが聖書を教えることは、神を吐き出して命を分け与えることであるべきです。

**2**十分に装備された神の人は、霊の中ですべての祈りと願い求めによって聖書を読んで神を吸い込み、言葉

をその霊として供給して神を人の中へと吐き出します。

**B**神の側で、聖書は神の息吹です。私たちの側で、聖書は私たちが神の息を受けて、四つの事で益を得ることです。それは教え、戒め、矯正、義の中の訓練です。

**1**教えは、啓示に等しいのです。教えることはおおいを取り去って、人に三一の神と彼のエコミーに関することを見せることです。

**エペソ3:9**万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコミーが何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり。

**2**戒めは、私たちが見た啓示から来ます。私たちは神の何かを見るときはいつも、自分の失敗、過ち、欠点、罪を認識し、その結果、戒められ責められます。私たちは神を見て、神を知り、神を愛するようになればなるほど、ますます自分を忌み嫌い、自己を否むようになります。

**3**矯正は、戒めに続き、間違っているものを正しくし、人を正しい道へ戻し、真っすぐな状態に回復することです。

**4**義の中の訓練は、神聖な教えを受けて、私たちの生かし出された義としてのキリストを享受し、神聖な取り扱いを受けて、神と人に対して正しくなることです。

**ピリピ3:9**そして、キリストの中に見いだされるためです。それは、律法に基づく私自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持つて。

**C**神が聖書の教え、戒め、矯正、義の中の訓練を通してご自身を息吹き出した結果は、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になることです

**2テモテ3:17**それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。

**1**神の人は神・人であり、神の命と性質にあずかり、こうして神の命と性質において神と一となり、それによって神を表現する人です。

**2**神の息吹は神・人を生み出します。私たちは祈りをもって聖書を読むことによって絶えず三一の神を吸い込んで、啓示、戒め、矯正、義の中の訓練を受ける必要があります。

**III**神の言葉を神の息として受け取って神で構成されることは、神の言葉とその霊の剣として受け取って神の内敵をほふることもあります

**エペソ6:17**また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、**18**すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。

**A**サタンは私たちの外側の敵であるだけでなく、私たちの内側の内敵でもあります。この内側の内敵を対処するために、私たちは言葉の殺す力を経験し、聖書の恒常的な言葉を祈り、それをその霊の即時的な言葉とならせる必要があります。

**B**剣、その霊、言葉は一です。聖書の

恒常的な言葉が即時的な言葉(その霊があらゆる状況の中で、その時に語る適用された言葉)となる時、その言葉は剣としてのその霊であり、内敵を殺します。ヘブル4:12 なぜなら、神の言は生きていて効力があり、どんなもろ刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を切り離すまでに刺し通して、心の思考と意図を識別することができるからです。C 私たちが霊の中ですべての祈りによって、神の言葉を受け取れば受け取るほど、私たちの中の消極的な要素はますますほふられます。最後には、最も害を与える敵、すなわちからだの敵である自己が死に渡されます。啓1:16 彼の口からは、鋭いもろ刃の剣が出ており... D 私たちが自分の内側の消極的なものによって悩まされるときはいつも、霊の中ですべての祈りによって神の言葉を受け取るべきです。私たちの中の消極的なものが祈り読みを通して殺されるとき、主は勝利を得ます。E 私たちは言葉をその霊として受け取ることによって、召会生活と務めの中で守られます。この言葉は殺す剣、霊的な抗生物質となって、私たちの内側の「病原菌」を殺し、私たちが健康なからだの生活、健康な召会生活をする事ができるようにします。F 勝利者は主の言葉を守り、常に主に来て、書かれた言葉の中で生ける言葉としての主と接触します。それによって、主は彼らの中で、分与する霊としての適用された言葉となることができます。G 勝利者は神の言葉としてのその霊で完全に構成されて、キリストの花嫁また新しい人、団体的な神の人となり、殺す剣としての神の息をもって神の敵を滅ぼし、神の子たちの出現となります。

CP1 高ぶりや思い煩いについて、御言葉によって啓示を受け、それらが合理性に欠け、不義であることを知り、戒められ、矯正され、義の中で訓練され、良いわざのために装備される

II 神の息吹かれた聖書は、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです 2テモテ3:15 また幼い時から聖なる書に親しんできたことを、知っているからです。この聖なる書はあなたに、キリストイエスにある信仰を通して、救いへと至る知恵を得させることができます。16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。

A と B とその下のOLを読んでください。

聖書が教えるのに益があるということはおおいを取る事、おおいを取り去ることに益があることを意味するということです。...何度も何度も、また集会に次ぐ集会で、あなたは徐々におおいを取り去る必要があります。あなたがこれを行なうなら、あな

たの教え方は、おおいを取るということになります。...私たちは神の何かを見るときはいつも、自分の失敗、過ち、欠点、罪を認識し、その結果、戒められ責められます。この戒めは、私たちが受ける啓示から来ます。...私たちが聖書を読むことにおいて啓示を受けるとき、その啓示は私たちを戒め、また私たちを叱責します。...私たちは、召会、兄弟姉妹、夫あるいは妻、両親、子供、隣人、さらに自分自身に対して間違っているかもしれません。私たちは、お金の使い方において、時間の使い方において、服の着方において、髪型において間違っているかもしれません。私たちはそれほど多くのさまざまなことにおいて間違っているかもしれないので、聖書を読むときに受ける啓示によって叱責されます。

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

証 聖書の御言葉を祈り読みすることで、教え(啓示)があり、そして啓示に基づき戒め、矯正、義の中で訓練があることについて証します。私は次の御言葉を祈り読みして、高ぶりと心配事について、教えられ、戒められ、叱責され、義の中で訓練されました。1 ペテロ5:5 同じように、若者たちよ、年長者たちに服従しなさい。またあなたがたはみな、互いに謙そんの帯を締めなさい。なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。6 ですから、神の力ある御手の下に へりくだらされなさい(be humbled)。それは時至って、彼があなたがたを高く上げてくださるためです。

FN ギリシャ語は受動態で、神によってへりくだらされていることを示し、それはおもに迫害の苦難を通してです。しかしながら、これは神の働きに対する私たちの協力を必要とします。私たちは喜んで神の力ある御手の下に、低く、へりくだらされなければなりません。ですから、「へりくだらされなさい」。「へりくだらされて」は受動的ですが、「なさい」(be)は能動的です。神が私たちの上に働いておられる間、私たちは主導権を取って、彼に働いていただく必要があります。主導権を取ることは能動的で、働いていただくことは受動的で、これは、私たちが進んで神の御手の下にあることです。神の御手は力があって、私たちのためにすべてを行なわれます。

大学4年生の卒業間際の頃、私はサタンに誘惑され、4年間で多くの人を救われたことを思い出し、高ぶりました。サタンは、「あなたはすばらしい。このようにたくさんの人を集会に連れて来て、救いにもたらした人は、あなただけである。あなたはもっと威張ってもいいのではないか?」と誘惑してきました。私はサタンの提案に同意してしまいました。そうすると、サタンの性質である罪が、私を高ぶりで満たし、私を暗闇に陥れました。その後、私が



悔い改めた時、聖霊は以前読んだ1ペテロ5:5～6の御言葉を用いて、次のことを照らしてくださいました、「あなたは神の御手の下で、へりくだらされるべきです。召会が福音を伝えるのであり個人ではありません。個々の信者はキリストのからだの一体体に過ぎず、キリストのからだと三一の神の働きから離れて、誰も救われ得ないのです」。私は再度悔い改めて、自分の高ぶりの罪を告白しました。働いている時も、高ぶりを対処するこの経験を、度々適用したことが主の祝福をもたらしました。「なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです(1ペテロ5:5)」。

この聖書の続きも読んでください。7あなたがたの心配事をすべて、神に投げてしまいなさい。なぜなら、あなたがたに関することを、彼は心にかけてくださるからです。8慎んで、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔は、ほえたける獅子のように、歩き回って、だれかを食い尽くそうと捜し求めています。私を悩ましていたのは高ぶりだけでなく、心配事でした。多くの時、私は心配事で満たされて、暗くなり、前進できませんでした。サタンは私に、会社の仕事について、上司や部下たちについて、子供たちについて、召会の奉仕について等、多くのことをもっと考え、悩むように提案してきました。私はサタンの提案を受け入れてしまい、暗闇に陥り、消極的になってしまいました。しかし上記の御言葉とピリピ4:6～7の御言葉が私を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練してくださいました。6何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることが伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。7そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいます。私はもともと非常に神経質な性格で、心配で満たされて、前進できないことに悩まされていました。しかし、神の息吹である聖書の御言葉を祈り読むことと御言葉を応用して祈ることで、仕事の中で、周りの人・事・物やそれにかかわる心配事に注意するのではなく、主を見つめ、仕事を前に進めることに集中することができました。多くの周りの反対を気にせず、大胆に行動して、成功を収めることができました。

**祈り** おお主イエスよ、聖書の言葉は、おおいを取り去ることに益があります。私の中の高ぶりが合理性に欠け、不義であることを啓示によって教えてください。それによって、私は戒められ、矯正され、義の中で訓練されます。その時、神は私に敵対するのではなく、さらに恵みを与えてくださいます。私が高ぶるかあるいはへりくだるかは、私が神に敵対されるか、神から恵みを受けるかを

決定します。私は必ず高ぶりを対処し、神の御手の下でへりくだりを学ばなければなりません。

**CP2** 霊の中ですべての祈りによって神の言葉を受け取れば、内側の消極的なもの殺される

**III** 神の言葉を神の息として受け取って神で構成されることは、神の言葉をその霊の剣として受け取って神の内敵をほふることであります **エペソ 6:17** また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、**18** すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。A～DのOLを読んでください。

自己は最大の敵であるので、私たちは神の言葉の殺す力を経験する必要があります。私たちは祈り読みする時、一方で養われますが、もう一方ではある要素が殺されます。おそらく、あなたは疑い、憎悪、ねたみ、高ぶり、利己的なことで悩まされているでしょう。あなたはこれらの事が、言葉の祈り読みを通して殺されることができているのでしょうか? ...祈り読みによって、内側の内敵はほふられます。言葉を祈り読みした後、私たちを攻撃していた内敵が消えてしまったことを発見するでしょう。とても実地的な意味で、私たちが取り入れた言葉によって、彼はほふられたのです。

妻との間に問題がある兄弟が、夫は自分の妻を愛するというパウロの言葉を祈り読みするとします。彼がこの節を祈り読みすればするほど、妻に対する愛が实际的に分け与えられて、彼の問題の消極的な要素を飲み尽くすことを、ますます感じます。...私たちが霊の中ですべての祈りによって、神の言葉を受け取れば受け取るほど、私たちの中の消極的な要素はますます死に渡されます。こうして、祈り読みは祝宴であるだけでなく、戦いの道でもあります。私たちが言葉を祈り読みする時、戦いが猛烈に進行して、私たちの存在の中の消極的な要素はほふられます。最後には、最も害を与える敵である自己は死に渡されるでしょう。私たちの中の消極的なものが祈り読みを通して殺されるとき、主は勝利を得られます。主が勝利を得られるので、私たちも勝利を得ます。

祈り読みは、私たちの内側の内敵を殺す方法です。毎日、あらゆる状況の中で、あなたは祈り読みすべきです。あなたが自分の内側の消極的なものによって悩まされるときはいつも、霊の中で祈ることによって神の言葉を受け取りなさい。あなたがこれをする時、消極的な要素は殺されます。

**適用: 青少年・大学生、新人編**

**証1** 私は結婚後、召会で奉仕をするようになりまし

た。福音や人を牧養すること、また、諸召会を訪問し、兄弟姉妹とブレンディングする機会が増えました。その中で自分は個人主義が強く、人と一緒に何かをすることを避けようとする性格であることを照らされるようになりました。しかし、聖書の御言葉、「この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです」(エペソ4:16)にある通り、主の願いは、すべての肢体が結合され、組み合わせられ、自分の度量に応じて機能し、キリストのからだを建造することです。今は青少年地区で若者たちと一緒に集会しています。彼らも若いからと言って軽んじられてはならない肢体です。若者が生き生きと喜んで、からだの中で度量に応じて機能できるように励ますことを学んでいます。

**証2**私は以前、主の回復の務めが、「教理よりも命」、「善悪・知識ではなく命」となぜいつも「命」を強調するのかよく分かりませんでした。この点についてとても長い間釈然としない日々を過ごしていましたが、ある時、Living stream ministry(LSM)が提供するラジオプログラムの中で、「私(主)が語った言葉は霊であり命である」(ヨハネ6:63)、及び「私(主)が来たのは羊(私たち)が命を得」(ヨハネ10:10)という言葉が語られました。ここで主は、彼が語る言葉が教理ではなく命であること、そして私たちは命の供給を受けるべきであることを語っているので、私には何の弁解の余地もなく、屈服させられました。また時期を同じくして、私はウィットネス・リー兄弟が1946年に創世記及びヨハネによる福音書の事例を用いて、命の木の原則について語られたメッセージを読みました。リー兄弟は、ある特定の人や事柄について論議(1テモテ1:4、テス3:9)を企てている聖徒たちに対して、「あなたがたが正しいかそうでないか議論ばかりしているのは、善悪知識の木の領域の中にいるからであり、命の木の領域にいないからです。あなたがたは論議をしているときあなたの霊は生き生きしていますか？それとも死んでいますか？」と問いました。このリー兄弟の語りかけを聞いた聖徒たちはみな悔い改めました。私はより一層「命」の重要性について強い印象を受けました。

私はこの「命の路線」の重要さに気づいたことにより、ライフスタディの追求グループに入ることを決めました。もろ刃の剣よりも鋭い聖書の御言葉を通して、私の混乱する思いから解き放たれました。

**祈り**おお主イエスよ、あらゆる状況の中で霊を活用して祈り読みし、神の言葉を受け取ります。そ

うすれば、最大の敵である自己を殺す力を経験することができます。私が内側の消極的なもの、疑い、憎悪、ねたみ、高ぶり、利己的なことなどによって悩まされるときは、すぐに霊の中で祈り、神の言葉を受け取ります。そうすれば消極的な要素は殺され、勝利することができます。

### 神戸に在る召会交わりと報告事項

#### 1. 諸召会等の訪問:

- 7/5-8 台北31集会所 25名  
7(主)9:30~ @各地区、集会&ランチ
- 7/13-15 台北61集会所(北投)100名(内60名  
神戸宿泊、大阪・東大阪120名)
- 13(土)17:00~18:00@魚崎 愛宴  
18:00~20:00 集会
- 14(主)10:00~12:00 主日集会  
12:00~13:00 ランチ  
18:00~19:00 神戸宿泊60名とブレン  
ディング夕食(本山、六甲)  
19:00~19:30 交わり  
19:30~20:30 夜の主日集会

7/16-8/16 周洪斌B、李徳英S

7/25-28 彰化郡瑜Sと弟さん(在職青年)

#### 2. 7月ビデオ訓練: 7/12(金)-8/3(土)

金曜日: 19:30-21:00、土曜日: 8:30-12:00

場所: 第一大地区@本山、第二大地区  
金曜日@三宮、土曜日@六甲

※1金曜日のビデオ訓練に参加出来ない在職の兄弟姉妹は、土曜日16:30-18:00@本山でビデオ訓練に参加してください。

※2 7/13日(土)は、魚崎で愛宴とブレンディングがあるため、ありません。

#### 3. 2024年SST(真理のサマースクール8/12(月)-17(土)): 東京基臨ビルで行われます。現在神戸からは14名の青少年、10名の奉仕者が参加します。若者たちが時間を聖別して、真理の中に入り込み、仲間たちと共に主をエンジョイすることができるように祈ってください。